

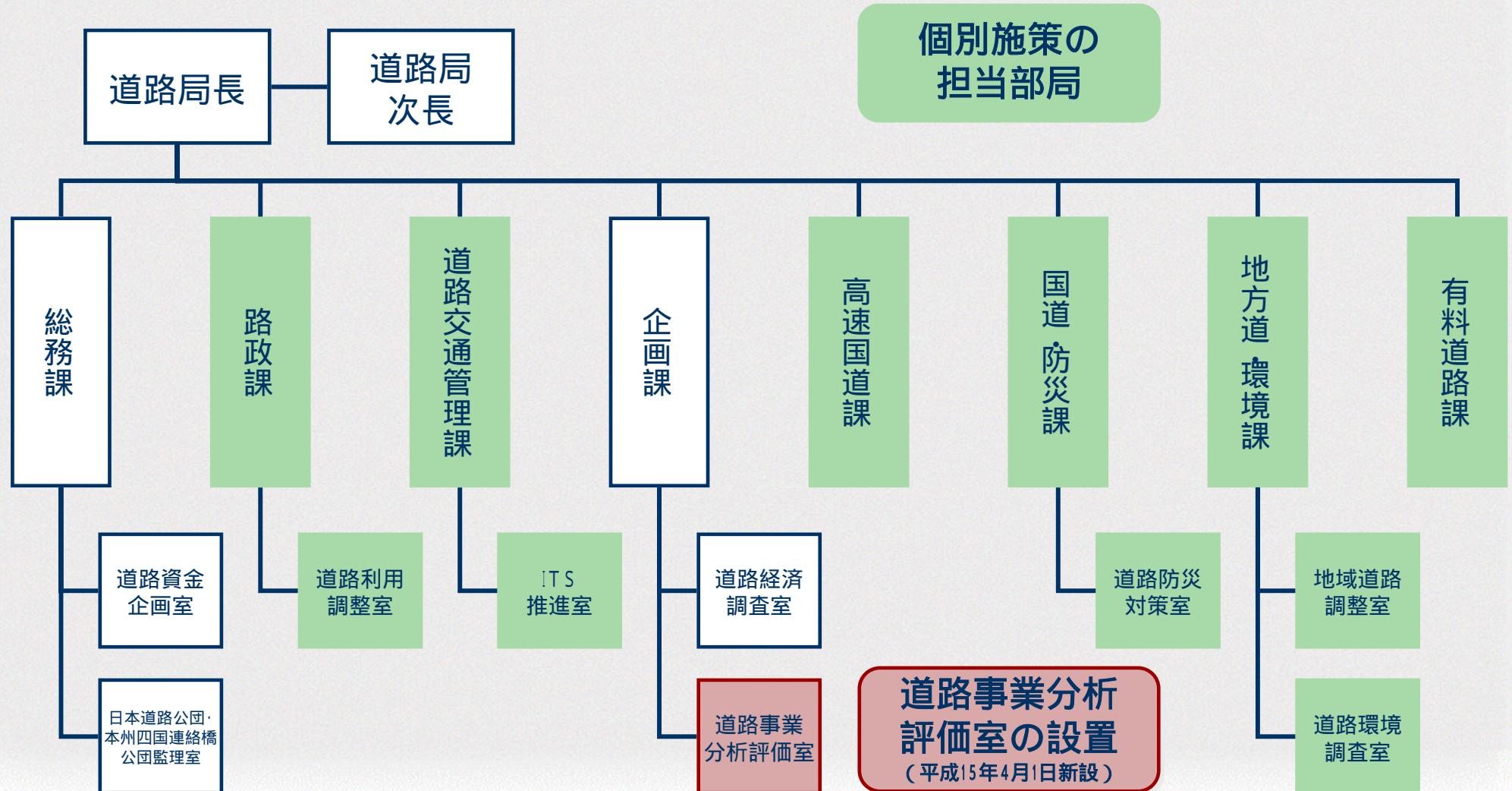
道路行政マネジメントをめぐる動きについて

平成15年5月6日

国土交通省 道路局

1. 道路事業分析評価室の設置

道路局の組織体系(平成15年4月以降)



個別事業の評価

道路事業評価手法検討委員会
 (平成15年1月に設置・委員長：森地茂東京大学教授)

費用便益分析に用いる時間価値等の改定

(H11) 76.01円/分・台
 (H15) **70.94円/分・台** (**6.7%**)
総走行台キロを用いて加重平均した全車種の平均

個別事業の評価に用いる評価指標の改定

国民の目に見える成果(アウトカム)を表す指標を個別事業の評価システムにも導入。

高速道路を対象とした「総合評価手法」の ケーススタディ

評価指標や指標の総合化等について検討中。

等

現在、費用便益分析マニュアル、客観的評価指標について、パブリック・コメントを実施中。

施策全体の評価（行政マネジメント）

道路行政マネジメント研究会
 (平成15年3月に設置・委員長：古川俊一筑波大学教授)

「新たな道路行政のマネジメントのあり方」 に関する検討

アウトカム指標を用いた評価システムに基づいた道路行政のマネジメントのあり方について検討中。

「業績計画書^(仮称)」「達成度報告書^(仮称)」 に関する検討

アウトカム指標を用いた行政マネジメントに不可欠な「業績計画書」「達成度報告書」の策定にあたり検討。

等

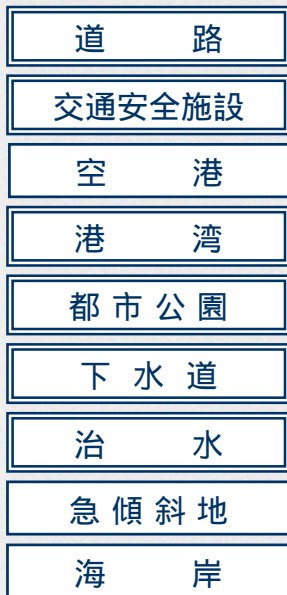
2. 「社会資本整備重点計画」の概要

社会資本整備重点計画法

平成15年3月28日:成立 3月31日:公布 4月1日:施行
警察庁、農林水産省、国土交通省共同提出

社会資本整備事業を重点的、効果的かつ効率的に推進するため、社会資本整備重点計画の策定等の措置を講ずる。

9本の事業分野別計画



一本化



重点化・集中化
のための計画に
転換

社会資本整備重点計画

= 平成15年度以降の5箇年間を計画期間

対象とする社会資本整備事業

道路、交通安全施設、鉄道、空港、港湾、航路標識、公園・緑地、下水道、河川、砂防、地すべり、急傾斜地、海岸(事業の効果を増大させるため一体として実施される事業やソフト施策を含む)

基本理念

地方分権の徹底、地域特性・民間活力活用等への配慮 等

計画事項

重点目標とその達成のため実施すべき事業の概要

アウトカム(成果)目標に重点(総事業費は内容としない)

事業を効果的かつ効率的に実施するための措置

社会資本整備の改革の取組み方針を明示

- ・地域住民等の理解と協力の確保
- ・事業間連携の確保
- ・コスト縮減
- ・既存ストックの有効活用
- ・入札・契約の適正化 等

その他事業の重点的、効果的かつ効率的な実施に関し必要な事項

注 H14・15が最終年度。二重枠の事業分野別計画には各々の緊急措置法がある。

計画の策定・実施プロセス

パブリック・インボルブメント
地方公共団体の意見を聴取



計画案作成



閣議決定

- ・社会経済情勢の変化に対応した計画期間中の見直しを義務付け
- ・政策評価の実施
- ・計画の最終年度に、計画に係る制度について検討、所要の措置

3. 道路関係の政策目標

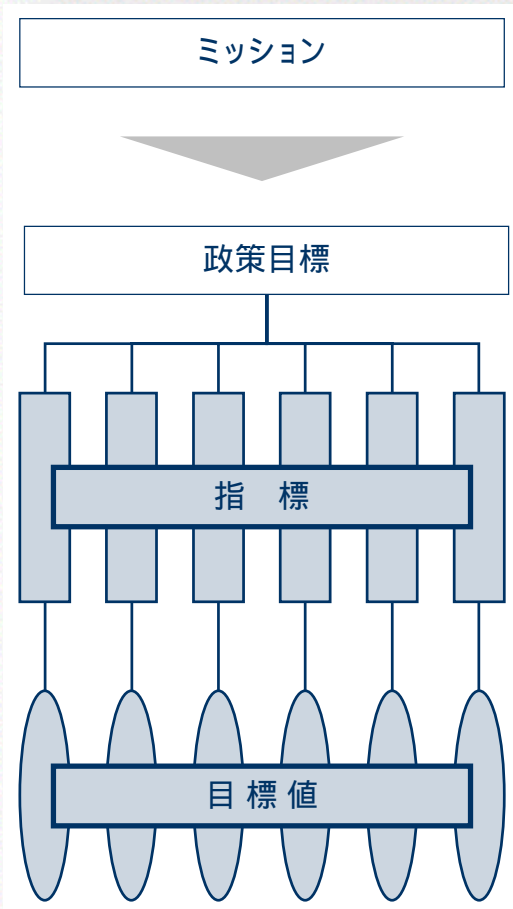
道路行政の改革

1. 選択と集中、無駄なくスピーディにサービス提供
2. 既存ストックの有効活用
3. 事業の透明性・アカウンタビリティの向上
4. 既存制度の見直し

施策のテーマ

- 活 力 ~ 都市再生と地域連携による経済活力の回復
- 暮らし ~ 生活の質の向上
- 安 全 ~ 安全で安心できるくらしの確保
- 環 境 ~ 環境の保全・創造

道路行政におけるアウトカム指標イメージ



- 1. 活力
～経済活力の回復と地域づくり～
- 2. 暮らし
～生活の質の向上～
- 3. 安全
～安全で安心できる暮らしの確保～
- 4. 環境
～環境の保全・創造～
- 道路行政の改革
(アカウントビリティの向上)

指標		現況値(H14)	目標値(H19)	
1	渋滞による損失時間	38.1億人時間/年	33.1億人時間/年	
	渋滞による損失金額	11.6兆円/年	10.0兆円/年	
2	路上工事時間	275時間/千台	2割削減	
3	都市計画道路が整備された市街地に居住する人口比率	61%	65%	
4	自動車専用道路交通分担率	13%	15%	
5	日常活動圏交流ルート確保率	66%	68%	
6	日常活動圏中心都市への安定到達率	61%	66%	
7	ETC利用率	2.9%	50%	
8	バリアフリー化率	17%	53%	
9	無電柱化率(幹線道路)	8%	13%	
10	交通事故死者率	1.13人/億台千0年	1.04人/億台千0年	
	死傷事故率	122件/億台千0年	118件/億台千0年	
11	災害時救援ルート確保率	69%	80%	
12	構造物保全率	81%	92%	
13	機能維持指数	84%	概ね現状水準を維持	
14	NO ₂ 環境目標達成率	51%	76%	
	SPM環境目標達成率	0%	62%	
15	夜間騒音要請限度達成率	66%	73%	
16	自動車CO ₂ 排出削減量	-	3,200万t-CO ₂ /年	
17	利用者満足度	2.6点	3.0点	
18	情報公開度	ホームページアクセス数	858万Hit/年	1億Hit/年
		道路IRサイト評点	33点	40点

主要なアウトカム指標(目標値等を含む)は現時点のものであり、今後の変更があり得る